



TITLE:

第47回基研運営委員会議事録

AUTHOR(S):

CITATION:

第47回基研運営委員会議事録. 物性研究 1969, 12(3): 223-226

ISSUE DATE:

1969-06-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/87165>

RIGHT:

うことらしい。

(この報告の後、質問を含めて種々の意見が出されたが、時間がない
為打切りとなった。)

以 上

文責 研究部員会議 議長団

第47回基研運営委員会議事録

1969年3月1日

於 コロキウム室

議 長	湯 川 秀 樹				
出 席 者	田 中 一	中村誠太郎	中 嶋 貞 雄	朝永振一郎	
	小 川 修 三	高 木 修 二	碓 井 恒 丸	小 林 稔	
	松 原 武 生	井 上 健	牧 二 郎	松 田 博 嗣	
	玉 垣 良 三				
欠 席 者	久 保 亮 五	坂 田 昌 一	小 谷 正 雄		

1. 研究部員会議報告と承認

報告が行なわれ、以下のような補足意見が出されて承認された。

。科研費について

朝永 私も、小林・小川両氏には審査委員に入っていただきたい。学術会議
の役割が続いている限りは科研費の審査を投げ出すべきではないと考
え、44年度1つの実験をやってみようと思った。

2年任期の問題についても学術会議に相談があったと思う。研究分野
も分け方を変える可能性があるし、そうなると任期も変わってくるとい
うことまで学術会議では考えている。

資 料

一般に今まで学術会議が審査していたのを学審がやるようになったと考えられているが、今までも審査委員会は研究奨励審議会の下部組織だった。昭和44年度も方針、大綱共に学術会議に聞いてくることになっている。どの程度それが尊重されるかも、実験をやらないとわからない。

小川 今度の審査では、機関研究、総合研究という今までの分け方の欠陥まで考えるらしいが、今の機構の中で、そこまでやれる自信がない。

朝永 学術会議の研究費委員会は事務的な仕事に追われ、本来の仕事をあまりやっていない。今度は根本的なことをやるつもりらしい。

牧 谷川氏の意見（研究部員会議資料4参照）は、もっと皆で back up するべきだと思う。学術会議の科研費委員等に前書きをつけて送りたい。

2. アトム型研究員の選考

応募者多数の為、今回は、①奨学生的なものは見合す。②2ヶ月を上限とする。という原則で以下のように決定した。

小林 庸 浩（早大 理工 D2）1ヶ月

秋 元 興 一（物 性 研 助手）1ヶ月

小 川 健 吾（東工大 理 D3）1ヶ月

山 田 知 司（京 大 理 D3）1ヶ月（4月から九大工助手）

豊 田 文 彦（九 大 理 D2）1ヶ月

高木 富士夫（東北大 理 助手）1ヶ月

猪 野 武 敏（島根大 理 講師）1ヶ月

買 場 政 之（名 大 理 D2）1ヶ月

石 田 晋（日大 理工 講師）1ヶ月

小 柳 義 夫（東 大 理 D1）1ヶ月

村 山 昭 浩（北 大 理 D3）2ヶ月（湯川奨学生に決った為、往復旅費のみ支給）

福 山 秀 敏（東 大 理 D2）40日

鈴 木 賢 二（九工大 自然 助教授）1ヶ月

林 浩 一（東大 教養 D3）2ヶ月

広 野 義 之（広 大 理 講師）1ヶ月

合 田 正 毅 (北 大 理 D 1) 2 ヶ月

生井沢 寛 (東大 教養 D 3) 2 ヶ月

但し 身分は3月1日現在

3. 湯川奨学生選考

決 定 二宮勸輔 岩崎洋一 大見哲巨

補 欠 村山昭浩 紺野公明 平沢敏晃 生井沢 寛

重定南奈子

その後、二宮・大見両氏が辞退されたので、村山・重定両氏が繰りあがった。

4. 44年度併任教授について

朝永・小谷の両氏が、この3月退官されるのでお願いできない。又、片山氏が原子核工学の主任で多忙とのことで辞退された。

今回は43年度併任教授から上記三氏を除く、六氏にお願いし、補充するとき、又、運営委員会で相談することになった。

早川幸男 碓井恒丸 高木修二 小林 稔

松原武生 井上 健

5. 45年度概算要求について

次の順序で推すことになった。

1. 研究部門(統計物理部門)の増設
2. 不完全部門の整備
3. IBM電子計算機借上
4. 客員研究員経費

6. 運営委員改選について

現運営委員の任期は、44年7月31日迄なので5月末迄に選挙を行なう。

素粒子論関係は核特委、物性関係は物性小委にお願いする。

資 料

7. 基研のあり方

中村 基研をもっと京大から離せないか。

湯川 今までの関係を考えると、かえって他の共同利用研究所より難しい。

幸い基研は京大の執行部には参加していない。

総長の選挙には加わらない方が良いと思う。

田中 併置にするわけにはいかないか。併置なら学長と直接つながるだけで
あとは大学と関係がない。

牧 かえって文部省と直結する可能性もあるのではないか。

田中 管理責任は学長にある。

朝永 人事には文部省の意見が入る。看護婦学校等がそうだ。

工専の校長は文部省任命になっている。

湯川 共同利用研究所長会議でも話が出るが、大学との関係はプラズマ研の
方がここより良いと思う。しかし今は、そういうことを言い出す時期
でないかもしれない。

以 上

文責 片岡 韶子